# ライフゲームによる食物連鎖のシミュレーション

班員 入口 崇紀、川上 拓海、小林 嵩門、高村 晃拓 担当教員 福光 英徳

キーワード:食物連鎖、ライフゲーム、シミュレーション

While the food chain is too complicated to simulate, we made a model limiting the number of species to 3. We compared the result of the simulation on the model with that of the equation we made based on the Lotka-Volterra equation.

## 1 はじめに

ライフゲームとは、決められたルールによって生物の誕生、淘汰などを簡易的に行えるシミュレーションである。本研究では3種類に限定した生物のシミュレーションを行うためにライフゲームのルールの拡張を試みた。

#### 2 方法

(1) ライフゲームのルールの拡張

ライフゲームに被食者・一次捕食者・二次捕食者とエネルギーのルールを定義した「Life\_Plus」というシミュレーションを作成し、実行するためにGollyというソフトを用いた。

《Life\_Plusのルール》

〈被食者のルール〉

- ・エネルギー値は常に1。
- ・周りの8セル中の生存セルの個体数が0~1,4~8体なら死亡する。
- ・周りの8セル中に一次捕食者が1つでもあると死亡する。
- ◎周りの8セル中に二次捕食者が1つでもあると死亡する。

〈一次捕食者のルール〉

- エネルギー値は0~3。
- ・周りの8セル中の4~8セルが一次捕食者

なら死亡する。

- ◎周りの8セル中に二次捕食者が1つでもあったら死亡する。
- ・エネルギー値が1世代ごとに1減る。
- ・エネルギー値が0になると死亡する。
- ・周りの8セル中の被食者の個体数だけエネルギー値が増加する。

〈二次捕食者のルール〉

- ◎エネルギー値は0~5。
- ◎周りの8セル中の4~8セルが二次捕食者なら死亡する。
- ◎エネルギー値が1世代ごとに1減る。
- ◎エネルギー値が0になると死亡する。
- ◎周りの8セル中の被食者と一次捕食者の合計エネルギー値の分だけエネルギー値が増加する。

〈死亡セルのルール〉

- ・エネルギー値は常に0。
- ・周りの8セル中3セルが被食者なら被食者 になる。最優先される。
- ・周りの8セル中3セルが一次捕食者ならエネルギー値が2の一次捕食者になる。優先される。
- ◎周りの8セル中3セルが二次捕食者ならエネルギー値が2の二次捕食者になる。

### (2)Life Plusの2種での有効性の検証

3種は複雑であることから、最初に被食者と一次捕食者の2種でのシミュレーションを行った。2種のシミュレーションについて、以下のとおり2つの条件で行った(表1)。なお、このシミュレーションではルールの◎の部分は使用しない。

表1:シミュレーションの条件

	実行範囲	死亡	被食者	一次捕食者
1	60×60	4	4	1
2	60×60	4	1	4

エクセルで、Life\_Plusのランダムなパターンを生成するプログラムと、Life\_Plusを実行するプログラムを作成し、データ収集をできるようにした。それを用いて被食者と一次捕食者だけのパターンのシミュレーション結果を収集した。

次にロジスティック方程式(式1)とロトカ・ヴォルテラ方程式(式2)を混合した方程式(式3)での計算結果を求めた。

式1:ロジスティック方程式

$$N(t) = \frac{N_o K e^{rt}}{K - N_0 + N_0 e^{rt}}$$

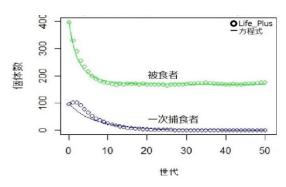
式3:混合方程式

$$\begin{cases} \frac{dN_1}{dt} = C_1 N_1 \left( 1 - \frac{N_1}{K} \right) - \frac{C_2 N_1 N_2}{1 + h N_1} \\ \frac{dN_2}{dt} = \frac{c_3 N_1 N_2}{1 + h N_1} - c_4 N_2 \end{cases}$$

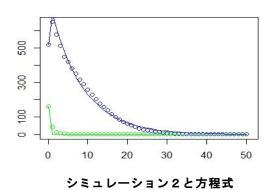
シミュレーションと計算の結果が一致すれば、2種での有効性が示せると考えられる。そのため、結果が一致する式3の係数があるかどうかR-studioで勾配法(ソースコード1)を用いて調べた。

その結果をグラフで示した。

なお、グラフの〇がシミュレーション結果、 曲線が計算結果を示し、緑が被食者、青が一次 捕食者のデータを示している。



シミュレーション1と方程式



グラフがほぼ一致することから、Life\_Plus は被食・捕食関係にある2種の生物のシミュレ ーションとして有効であるといえる。

## (3)Life\_Plusの3種での有効性の検証

Life\_Plusを用いた被食者と一次捕食者、二次捕食者の3種でのシミュレーションを行い、結果を収集した。

計算については、式3を3種に拡張した方程式(式4)を考案し、計算結果を求めた。

式4:式3を3種に拡張した方程式

$$\begin{cases} \frac{dN_1}{dt} = C_1 N_1 \left( 1 - \frac{N_1}{K} \right) - \frac{C_2 N_1 N_2}{1 + h_1 N_1} \\ - \frac{C_3 N_1 N_3}{1 + h_2 N_1} \\ \frac{dN_2}{dt} = \frac{c_4 N_1 N_2}{1 + h_1 N_1} - \frac{c_5 N_2 N_3}{1 + h_2 N_2} - c_6 N_2 \\ \frac{dN_3}{dt} = \frac{c_7 N_1 N_3}{1 + h_2 N_1} + \frac{c_8 N_2 N_3}{1 + h_2 N_2} - c_9 N_3 \end{cases}$$

シミュレーションと計算の結果を比較した ところ、2種のときほどの一致が見られなかっ た。

このことから、Life\_Plusの有効性については、不明である。今後の検討が必要である。

### 3 結論

Life\_Plusは2種でのシミュレーションについては有効であると考えられるが、3種では更なる検討が必要である。

ソースコード 1:2 種での検証に用いた ※使用するcsvファイルの名前は "ファイル名 m"  $(m=1,2,3,\cdots)$  の形にすること 2:2 の都合により一部改行がおかし

```
くなっている。
setwd("ファイルのある場所")
#読み込むファイルの数を指定
x =
#世代数
nt =
#読み込むファイルの名前
name <- "名前を入れる"
for(i in 1:x){
                  paste("table",i,"
         <-
                                         <-
read.csv('", name, i, ".csv')", sep = "")
  eval(parse(text = s))
for(i in 1:x) {
 sp <- paste("p", i, " <- ", "c(table", i, "$被食
者)", sep = "")
 st <- paste("pp",i," <- ","c(table",i,"$一次捕
食者合計)", sep = "")
 eval(parse(text =sp))
  eval(parse(text =st))
d1 <- p1[1]
d2 <- pp1[1]
for(i in 2:x) {
 sd1 <- paste("d1"," <- c(d1",",p",i,"[1])",sep
sd2 <- paste("d2"," <- c(d2",",pp",i,"[1])",sep = "")
  eval(parse(text = sd1))
  eval(parse(text = sd2))
p <- mean(d1)
pp <- mean(d2)
for(i in 2:nt){
  eval(parse(text = sel))
  eval(parse(text = se2))
  for(ii in 2:x){
```

paste("d1","

sd1

### 4 参考文献

巌佐 傭 (1998) 数理生物学入門-生物社会のダイナミックスを探る. 共立出版株式会社 Golly Game of Life Home Page (2017) http://golly.sourceforge.net/ライフゲームーWikipedia (2017) https://ja.wikipedia.org/wiki/ライフゲーム

```
c(d1",",p",ii,"[",i,"])",sep = "")
                              paste("d2","
     sd2
c(d2", ", pp", ii, "[", i, "])", sep =
     eval(parse(text = sd1))
     eval(parse(text = sd2))
  p \leftarrow c(p, mean(d1))
  pp <- c(pp, mean(d2))
p \leftarrow c(p, p[nt]); pp \leftarrow c(pp, pp[nt])
t <- seq(0, nt, 1)
n \leftarrow p[1]
e <- exp(1)
rp <- c(p, pp)
f <- c(a=1, b=0.6, c=1, d=0.2, k=200, h=0.2)
f1 <- f; f2 <- f
change <- c(1,0.1,0.01,0.001)
for(kurikaesi in 1:6){
for(I in 1:6) {
  for(nc in change) {
     library (deSolve)
     parameters <- f
     initial \langle -c(x=p[1], y=pp[1])
     times \langle - \text{ seq}(0, \text{ nt, } 1) \rangle
     rotoka <- function(t, state, parameters) {
       with(as.list(c(state, parameters)), {
          dx < -a*x*(1-(x/k))-(b*x*y/(1+h*x))
          dy < -(c*x*y/(1+h*x))-d*y
          list(c(dx, dy))
       })
     out0 \leftarrow ode(y = initial, times = times, func
= rotoka, parms = parameters)
     op0 < c(out0[, 2]); opp0 < c(out0[, 3])
     outp0 \leftarrow abs(p - op0); outpp0 \leftarrow abs(pp -
opp0)
     if(length(op0) < nt + 1){
       10 \leftarrow length(op0) - 2
          library(deSolve)
          parameters <- f
          initial \langle -c(x=p[1], y=pp[1])
          times \langle - \operatorname{seq}(0, 10, 1) \rangle
          rotoka
                      <-
                             function(t.
                                                  state.
parameters) {
            with (as. list(c(state, parameters)), {
```

<-

```
dx < -a*x*(1-(x/k))-(b*x*y/(1+h*x))
                                                                       12 <- length(op2)
              dy < -(c*x*y/(1+h*x))-d*y
                                                                        if(12 < nt + 1) {
              list(c(dx, dy))
                                                                          12 <- 12 - 2
           })
                                                                          library(deSolve)
                                                                          parameters <- f2
                                                                          initial \leftarrow c(x=p[1], y=pp[1])
         out0 <- ode(y = initial, times = times,
func = rotoka, parms = parameters)
                                                                          times \langle - \text{ seq}(0, 12, 1) \rangle
         op0 \leftarrow c(out0[,2]); opp0 \leftarrow c(out0[,3])
                                                                          rotoka
                                                                                      <-
                                                                                              function(t,
                                                                                                                state.
         hp <- p[1:10]; hpp <- pp[1:10]
                                                                parameters) {
         outp0 <- abs(hp - op0); outpp0 <- abs(hpp
                                                                            with (as.\,list(c\,(state,\ parameters))\,,\,\{
- opp0)
                                                                               dx \ \leftarrow \ a*x*(1-(x/k))-(b*x*y/(1+h*x))
                                                                               dy < -(c*x*y/(1+h*x))-d*y
                                                                               list(c(dx, dy))
    g0 <- sum(outp0, outpp0)#初期値の誤差を出す
                                                                            })
    gosa1 <- -1*g0; gosa2 <- g0; gosa3 <- g0; G
                                                                          }
<- abs(gosa3 - gosa1)
                                                                          out2 <- ode(y = initial, times = times,
                                                                func = rotoka, parms = parameters)
    while (G > 0.0001) {
                                                                          op2 \leftarrow c(out2[,2]); opp2 \leftarrow c(out2[,3])
       f1[I] \leftarrow f1[I] + nc
       library(deSolve)
                                                                        if(11 <= 12){
       parameters <- fl
       initial \langle -c(x=p[1], y=pp[1])
                                                                          hp <- p[1:11]; hpp <- pp[1:11]; op2 <-
                                                                op2[1:11]; opp2 <- opp2[1:11]
       times \langle - \text{ seq}(0, \text{ nt, } 1) \rangle
       rotoka <- function(t, state, parameters) {</pre>
                                                                       }else{
         with(as.list(c(state, parameters)), {
                                                                          hp \leftarrow p[1:12]; hpp \leftarrow pp[1:12]; op1 \leftarrow
            dx < -a*x*(1-(x/k))-(b*x*y/(1+h*x))
                                                                op1[1:12]; opp1 <- opp1[1:12]
            dy < -(c*x*y/(1+h*x))-d*y
                                                                       }
            list(c(dx, dy))
         })
                                                                       outp1 <- abs(hp - op1); outpp1 <- abs(hpp
                                                                - opp1); outp2 <- abs(hp - op2); outpp2 <- abs(hpp
      }
      out1 <- ode(y = initial, times = times,
                                                                 - opp2)
func = rotoka, parms = parameters)
                                                                       g1 <- sum(outp1, outpp1)
      op1 <- c(out1[,2]); opp1 <- c(out1[,3])
                                                                       g2 <- sum(outp2, outpp2)
       11 <- length(op1)
       if(11 < nt + 1) {
                                                                        gosa3 <- gosa2
         11 \leftarrow 11 -2
                                                                        gosa2 <- gosa1
         library (deSolve)
         parameters <- f1
                                                                        if (abs(g1 - g2) < 0.0001) {
         initial \langle -c(x=p[1], y=pp[1])
                                                                            gosa1 <- g0
         times \langle - \text{ seq}(0, 11, 1) \rangle
                                                                            out <- out0
                                                                            f1 <- f; f2 <- f
         rotoka
                     <-
                             function(t,
                                               state.
parameters) {
                                                                        else if(g1 > g2)
            with(as.list(c(state, parameters)),{
                                                                          f <- f2; f1 <- f2
              \begin{array}{lll} dx & <- \ a*x*(1-(x/k))-(b*x*y/(1+h*x)) \\ dy & <- \ (c*x*y/(1+h*x))-d*y \end{array}
                                                                          gosa1 <- g2
                                                                          out <- out2
              list(c(dx, dy))
                                                                        }else{
           })
                                                                          f <- f1; f2 <- f1
                                                                          gosa1 <- g1
         out1 \leftarrow ode(y = initial, times = times,
                                                                          out <- out1
func = rotoka, parms = parameters)
         op1 <- c(out1[,2]); opp1 <- c(out1[,3])
                                                                        G <- abs(gosa3 - gosa1)
       f2[I] \leftarrow abs(f2[I] - nc)
       library (deSolve)
       parameters <- f2
                                                                popp <- c(out[, 2])
       initial \langle -c(x=p[1], y=pp[1])
                                                                pop1p <- c(out[, 3])
       times \langle - \text{ seq}(0, \text{ nt, } 1) \rangle
                                                                len <- 0:length(popp)</pre>
       rotoka <- function(t, state, parameters) {</pre>
                                                                # 散布図
         with(as.list(c(state, parameters)), {
                                                                plot(t, p, xlim = range(len), ylim = range(rp), lwd
                                                                 = 1, xlab = "世代", ylab = "個体数",col
            dx <-a*x*(1-(x/k))-(b*x*y/(1+h*x))
            dy < -(c*x*y/(1+h*x))-d*y
                                                                ="green", pch = 1)
            list(c(dx, dy))
                                                                points(t, pp, xlim = range(len),
                                                                                                              vlim =
         })
                                                                range(rp), lwd = 1, col = "blue", pch = 1)
      }
                                                                points(times, popp, xlim = range(len), ylim =
                                                                range(rp), lwd = 1, col = "green", type = "1")
      out2 <- ode(y = initial, times = times,
func = rotoka, parms = parameters)
                                                                points(times, pop1p, xlim = range(len), ylim =
      op2 <- c(out2[,2]); opp2 <- c(out2[,3])
                                                                range(rp), lwd = 1, col ="blue", type = "l"
```